

第27号

○発行年月日  
平成26年6月20日  
○発行  
社会福祉法人  
安房広域福祉会  
〒294-0231  
千葉県館山市中里288-1  
☎0470-28-2422  
FAX0470-28-2424

# にじのかけはし



作品名『花火』 加藤昌之さん作

ふれあひ夏まつり

8月6日(水)

17時50分～21時

雨天延期8月7日

●催事内容

フラメンコ・盆踊り・

フラダンス・大抽選会・

打ち上げ花火

●夜店

フランクフルト・

焼きそば・かき氷等

ゲームコーナー

朝顔・ほおずき市

7月12日(土)10時～14時

●焼きそば

(中里ワークホーム)

●新鮮野菜 他

無料サービス

かき氷



## 全てを利用者の目線で

理事長 武田 金市郎

本法人は設立以来28年目を迎えました。その間、日本の社会は著しく変貌しました。バブル経済の崩壊に続く「失われた二十年」の不況・企業の海外流出、雇用状況の悪化、また東日本大震災とそれに伴う原子力災害等暗いニュースは枚挙にいとまがありません。それは障害者(児)に係る環境をも直撃しました。

しかし、そうした中でも私たちは福祉に携わる者にとって「変わらぬ」もの、「変えてはならない」ものがあります。それは施設の運営に係る全てに(ソフト面・ハード面)について「利用者の目線に立つこと」です。

人間の陥り易い習性を戒める格言に「初心忘るべからず」があります。昨今のマスコミを賑わした政治家や官僚自身そのような事態は就任時には想像もしなかったことと思います。初心を忘れさせたものは何か?。それは歴史が物語ってくれます。

平成24年10月から障害者に対する虐待防止法が施行されました。

県内においても福祉施設における虐待問題が報道されました。当初の同じ目線がマンネリにより上からの目線で利用者に係るようになる。その結果の重大事故。福祉に携わる者として「他山の石」とすべきだと思えます。

年度始めにあたり、私たちも一人ひとりが福祉事業の精神の本質を再確認するなかで現在の職場の勤務内容(ソフト面・ハード面)を「利用者の目線」で点検してみる必要ではないかと思えます。その手始めに本法人の「理念」を毎日口ずさむことを勧めます。

## 安房広域福祉会 「理念」

## 自他相愛

自分を大切に想うように他者も同じく大切に想うこと

私達は施設を利用される方々やそのご家族また職員相互そして広く全ての人々に対してこの理念に基づき行動します

## 新年度を迎えて

中里の家施設長 畠山 正昭

28年目を迎えた「中里の家」では新しく5名の支援スタッフが仲間入りしてスタートしました。異動や配置換えなどもあり、新たな体制で支援を展開しております。

今年度は、福祉の基本となる対人援助について、特に「接遇」に重点をおいて支援していきたいと考えております。相手をもてなすことや思いやる気持ちを持つて接すること、法人理念である「自他相愛」を常に意識して行動していくことが大切であり、適切な支援の提供につながることを考えております。

また、利用者の心に寄り添うこととの大切さと難しさを日々、痛感しておりますが目の前で起こる出来事を細かく読み取る力や想像力を働かせることがとても大切であると思えます。私達支援者に必要なことは、利用者の気持ちや思い

を理解することを常に努力していくこと、正しくより多くを受け止めることで、利用者が穏やかにすごしていただくことができるのだと考えます。

さらに高齢化に伴う介護や重い障害を持つ方への対応など幅広い支援がさらに必要となってきました。個々の支援技術、チームアプローチの向上と安全で快適に暮らせる住環境の整備を図り、施設での生活に満足していただけるように努めていきたいと思えます。

これからも基本を大切にして、出来ることから一つずつ確実に取り組んでいくことで利用者、ご家族、地域から信頼される施設づくりを目指していきたいと思えますので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



## 各事業所から

### 新年度を迎えて

中里ワークホーム 次長 近藤大介

早いもので桜の花もいつの間にか青葉に変わり、月日の早さを感じる今日この頃、気持ちも新たに平成26年度を迎えることとなりました。

この数年地域で生活されている方々のニーズも多様化し、それに合わせ中里ワークホームでは昨年定員を5名増員し70名での支援を行うこととなりました。その中で今年度は「生活介護サービス」をご希望する方が増えたこともあり、今年度はより多くの方のニーズにお応えができるように、レクリエーションや運動支援などの充実、また常に皆様のご意見を参考にいろいろな取り組みを考え「楽しい一日」が過ごせる支援を目指しています。

中里ワークホームでは今後も皆様のご意見やご要望を組み入れ、地域で生活されている方々が安心してご利用できる施設を目指しています。色々なニーズに対応できるよう支援を行ってまいりますので、これからも皆様のご協力をお願いいたします。

### 飛躍の5年目に

障害者就業・生活支援センター中里 所長 杉村利之

今年初めに「障害者の権利に関する条約」を国が批准し、障害者雇用の分野においても大きく影響がもたらされることが予想されます。障害者雇用促進法の一部改正等もあり、障害ある方にとっては更なる追い風が吹く中、雇用施策に困惑されている企業も少なくなく、今後も当センターを含めた就労支援機関の役割が問われてくることと思います。

障害ある方と企業とのコーディネートをしているとセンター業務の重責を感じます。初めて社会に出る方・生活困窮の方等、個々の状況は様々ですが、ある意味私たちの仕事はその方たちの将来を左右すると言っても過言ではないのかもしれませんが、そんな重責をやりがいに変え、障害ある方に寄り添いながら、個々の目標の実現に向けて少しでも力添えできるよう粉骨砕身、5年目の業務に励んでいきたいと思っています。

### 気持ち新たに

児童デイセンターこすもす 所長 押元 昇

昨年度中は、事務的ミスにより多方面に渡りご迷惑とご心配をおかけいたしました。皆様のご協力を賜り、昨年度中に処理を終えることができました。

今年度は気持ち新たに、失敗を糧にし、より一層コンプライアンス意識を高め、皆様よりお受けした御恩をお返しできる様、日々努力を重ねていきます。

年が経つのは早いもので「こすもす」が開所した年に小学校へ入学したお子様も今年度で6年生です。翌年には中学校へ入学し、お兄さん、お姉さんへと成長した姿がみられます。「こすもす」も今以上に成長し、信頼され頼れるセンターにできるよう、日々努力を重ねていきます。

また、昨年度休止させて頂いておりました相談支援事業所「ライフサポートこすもす」を再開することとなりました。安房地域の児童分野における相談支援を行い、より良い施設利用ができ、そして、家族が笑顔で暮らすことができるよう、事業を展開していきます。

### 桜満開

桜の里 所長 江部純子

桜の里が開所してから、今年、2度目の春を迎えました。当初7名のご利用者様からスタートしましたが、今春5名の新しい仲間も加わり、現在は、1日平均で18名の方々にご利用いただいております。職員も今春3名増員しました。ご利用者様はじめ、ご家族の皆様や各関係機関の皆様を支えられて現在の桜の里があることに深く感謝申し上げます。

さて、今春の山本堰は昨年を上回る満開の桜に恵まれました。そんな桜にも力をいただき、私達職員も精一杯のサービスをおもてなしできたかと、今年度気持ちを新たにスタートしております。昨年のキーワードは「笑顔」今年はもちろん、「お・も・て・な・し」職員の一人ひとりが自他相愛の精神で、やさしく、温かい支援を心がけ、ご利用者の皆様やご家族の皆様から信頼の厚い施設となれるよう邁進してまいりたいと思います。そして、いつも聞こえてくる明るい笑い声、そんな桜の里になりますように。

## 南房同友会さん来所

支援員 馬目 佳輔

平成26年3月14日、今年も南房同友会の方々が慰問にきて下さいました。毎年恒例となっていることもあり、日にちが決まる前から「今年はいつきてくれるの?」と、みなさんが心待ちにしている行事のひとつです。

当日は、中里ワークホーム多目



▲ありがとうございました

的ホールで、歌謡曲、民謡、フラダンス、舞踊、三味線と多彩な演目を披露していただき、会場はとても盛り上がっていました。特に、三味線演奏の『月の砂漠』『荒城の月』『赤とんぼ』では、歌詞カードを手に全員で歌い、

みなさんとっても楽しそう♪私も懐かしいメロディに心が和みました。民謡の『東京音頭』や『ソラン節』では、「自由に踊ってください」との誘いに、みなさん席から立ち上がってリズムに合わせて手を叩いたり、踊ったりしていました。

南房同友会のみなさん、盛りだくさんの楽しい演目をありがとうございました。次回の来所を、心よりお待ちしております。それまでに、もっと上手に踊れるよう練習しておきますね。



▲みんなで楽しく♪

## 中里の家

## 大相撲見ました!

支援員 加藤 智大

4月19日土曜日。館山市藤原にある県立館山運動公園体育館にお相撲さんがやってきました!館山市制施行75周年記念ということで福祉大相撲館山場所に招待されました。会場は華やかな垂れ幕がかげられ、ガッチリとした体格の力士が往来し、普段とは違った空気を感しました。

招待された席は1階でしたので、普段車イスに乗り遠出の外出が難しい方もゆくりと相撲を見ることができました。利用者さん



▲お相撲さんと、ハイポーズ!

は相撲が始まる前にタオルや座布団を購入し、まずは一満足。幕内力士が入場し始めたあたりから利用者さんのテンションは急上昇!大きな声で声援を送りま

す。中には感動して涙を流す方もいらっしやいました。迫力ある相撲を間近で見ることができて皆さん大満足な1日を過ごすことができました。



▲たくさんのお相撲さん。大迫力!



▲お土産を買って大満足。



## 楽しかった昼食バイキング

支援員 山下 和博

中里の家では、5月5日に昼食バイキングを行いました。いつもはご飯やおかずが盛り付けられていますが、この日ばかりは特別です。パスタやコロッケ、デザートは杏仁豆腐など種類が豊富。それぞれ、好きな料理を持っていきました。そして、バイキングの醍醐味といえば「おかわり」です。ひたすら同じ料理を食べる方、全種類制覇しようと少しずつ取り分ける方と様々でしたが、中には3回も山盛りでおかわりしたつわものの姿も…。

普段と違った食事で、みなさん大満足。笑顔の溢れる楽しい一時となりました。食後に利用者さんから



▲「うれしいな〜」

「たくさん食べられてよかった。」と話があり、とても好評でした。楽しい思い出がまたひとつ増えたのではないかと思います。

## ゴールデンウィークの楽しみ

支援員 斉藤沙也加

5月4日、中里の家にて余暇支援として3時のおやつにケーキを食べました。

昼食後からそわそわする方があり、どんなケーキがあるのか楽しみにしている様子でした。待ちに待ったおやつになると、みなさん我先にと食堂へ入室。食堂へ入ると、色とりどりのケーキが並んでいました。気合いの入った「いただきます。」の挨拶をすると、みなさん勢いよく食べ始めました。ケーキを頬張り、ジュースをゴクゴクと飲む利用者さんの姿はとても嬉しそうでした。「おいしかった。」と笑顔で話している方も多くみられ、良いイベントになったのではないかと思います。

今後も、利用者さんが楽しめるようなイベントを企画し、余暇の充実を図っていきたいと思います。



▲おいし〜い☆

## 中里ワークホーム

### 『よが』支援

支援員 高橋 麻衣

中里ワークホームでは祝日を余暇支援の日とし、様々な計画をご提案しています。

GW中はレクリエーション・ウォーキング・カラオケ・ドライブ・バーベキューと、盛沢山の計画をご提案し、多くの利用者様にご参加いただきました。

4月29日 当法人桜の里にて合同でのレク。サッカー・野球・散歩など、皆様思い思いに過ごされ日頃の疲れをリフレッシュしているようでした。昼食はワークホーム製麺班特製の中華麺を使用し、得意のラーメン屋台でおもてなし。「おいしい、おいしい。」と嬉しい声が聞かれ午後もヤル気になったところで予報より早い雨…。予定より早いお開きとなってしまいました。「午後も野球したかったのに!!」と残念そうな声も上がりましたので、また計画を提案したいと思います。

5月5日 「ウォーキングに行きましょう。」と玄関を出ると「ポツリポツリ」と空からの贈り物、その名も『雨玉』嫌いではないのが…。

午前と午後の予定を入れ替え、いざドライブへ。すると雨は上がり、これなら午後はウォーキングに出られると一安心。午後「ウォーキングに行きましょう。」と玄関を10メートル「ポツリポツリ」…。どこかで見ているのでしようか？あまりのタイミングの良さに完敗でした。その悔しさが皆さんカラオケ大熱唱？悔しさがバネになるとはこのことかと…。

5月6日 昨日の雨も上がり念願のウォーキング「野鳥の森」へ出かけました。「久しぶりに歩いて気持ち良かった。」「たまには動かないとね。」「とリフレッシュできたようでした。昼食は皆さんお待ちかねのバーベキュー。利用者の方々にもお手伝いいただき、とてもおいしくいただけことができました。

これから皆様喜んでいただけるよう「良かな」支援を提案させていただきます。



▲おいしいね♥ ピース👌

中里  
ワークホーム

田植えを終えて

支援員 江部 徹

今年4月に製麺事業から農産事業の担当になり、一つ目の大仕事である田植えを農産利用者の方々とともにタツフに支えられて無事終えることができました。もともと農業について全く無知の私にとっては何もかもが初めてのことはかりで困惑する毎日ではありますが、ワークホームで初めて勤務した日を思い出させてくれるような新鮮な気持ちで新しい年度をスタートできたことに感謝しております。

さて、田植えと一言に言いますが、稲を植えるまでに実に様々な行程があるのを皆様ご存じでしょうか。稲刈りが終わった後の耕耘に始まり、畦塗り、あら代、代かき、田植えの順番で進行していきます。普段何も考えずにお米を口にしていた私ですが、一粒のお米を作るには本当に大変な道のりがあるのですね。毎日食べても飽きないお米。これからも日本のお米文化を大切にしていきたいと考える今日この頃です。

話を戻しますが、ワークホームのお米が他の農家のお米と違うところはずばり、みんなで作るお米ということになります。主役はもちろん

利用者の方々であり、職員はもちろんそのお手伝い、脇役です。携わっていたただく利用者の方々にはそれぞれ得意とする行程があり、その行程一つひとつが農産事業を支えています。チームワークにより一つの作業が成り立っている。本当に素晴らしいことだと実感すると共に、その一員に私も入れていただけることが本当にありがたいことだと感じます。

昨年は4・8 haの作付でしたが、今年度から5・6 haの規模で展開しています。田植えはほんのスタートで稲刈りまで気が抜けない毎日ですが、初秋にいち早く皆様にワークホームの新米(情熱米)を自信を持ってお届けできるよう皆で頑張ってくださいと思いますので、応援して下さいますよう、お願いいたします。



▲新緑の中、豊作を願って。

実習生からひとこと

清和短期大学 伊藤 優太さん

私は短大の実習で中里の家に来ています。私は実習が始まる前までは、利用者の方々どのように接すればよいのか、利用者の方々に不安にさせたりしないだろうかと心配していました。今まで知的障がいの方々に関わった経験がなかったことによる不安でした。しかし実際に実習が始まってから何日か施設で実習をしてみると利用者の方々はどのような物事にも純粋であるということを知ることができました。

私が担当している方々は生活グループですが、次に担当することになっている稼働グループの方々は生活グループの利用者との違いはどのようなものがあるのかを常に意識しながら接するようになっていきたいです。

清和短期大学 小原 拓也さん

自分は実習を行う前に、障がいの種別や特徴について学校で学んだ事を復習し、実習に臨みました。実習では障がいの種別に合った適切な支援を行うことを目標としました。実習を行い、同じ障がいであっても、個々により障がいの表れ方が異なり、戸惑いました。今後の実習では、利用者さんの障がいの特徴やこだわりをできるだけ丁寧に捉えて、その方がよりよい生活ができるような援助をしたいと思います。実習で学ばせて頂いた事を今後に活かし、資格取得に向けて頑張ります。そして、支援者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



中里  
ワークホーム

松戸六実桜祭り

支援員 佐藤文人

4月5日(土)、6(日)の2日間、松戸市のビッグイベントに行っていました。早いもので今回6回目の参加になりました。

このイベントは松戸市が企画する大きなイベントの一つであり、街道に咲き誇った見事な桜を満喫しながら、吹奏楽、サンバのパレードや舞台での地元芸能などを楽しむことができます。

もちろん、我々中里ワークホームは自慢の屋台ラーメンを振る舞う目的で。

そこでこんなことがありました。「今年も食べに来たよ。」「毎年美味しいラーメンをありがとう。」など、お客様から沢山の嬉しいお言葉を頂戴したのです。

これからも利用者の皆様が生懸命作った製品を最高の状態でお届けできるよう努めていきたい。そんな温かい気持ちになれた2日間でした。すべてはお客様のうまい！のために！



ボルネオ視察？

施設長 岡田 義之

忙しい4月、迷惑な話して9名の海外視察旅行へ。今年で10年目で、これまで東南アジアを11ヶ国です。毎年のこと、来年は何処にする？が話題にのぼり結局は予定どおりにならない「ゆるい」幹事まかせが10年続いている秘訣かもしれません。

行き先はボルネオ島のマレーシア、狭い飛行機で6時間、到着後夕食へ：東南アジアの似た様な味ですが日本人にも合いそうに思えました。観光は世界遺産キナバル山を望むキナバル公園や蚩鑑賞しながらのジャングルクルーズなどです。

忘れてる？いえいえ忘れてはいませんが、勿論障害者施設の訪問もしました。知的・身体障害者の入・通所施設、祝日で入所の方のみでしたが、所長の説明後しばし皆さんと時間を過ごしてきました。報告それだけ

帰国後まず食したのは寿司。来年はトルコへなんて話も。



▲ジャングルクルーズ



▲ボルネオ視察

中里ルーキーズ始動!!

中里ルーキーズ主将 金木 隆裕

プロ野球は2月1日にキャンプインですが中里ルーキーズといえますと：4月にナイター練習を行い今シーズンの開幕を迎えました。

公式戦は秋季大会まであり、4月からの春季大会は初戦を勝ち2回戦は1-4で春の大会を終えました。

以前は人数がそろわずに棄権することも多々ありましたが、毎年新人職員で興味のある方にも参加いただき、最近では参加出来る職員でなんとカグラランドに立たずに敗退するという事はなくなってきました。

若い職員が増えてきたといっても、エースとリリーフは畠山施設長!!押元所長!!で、長年の経験から打たせて取るお手本の様なピッチングで、守っている野手も尚更気持ちが高まるような投球を見せてくれます。

スポーツをしている時は皆一丸となり勝利を目指しひとつになれるところがなんといっても魅力であり、ヒットを打った時や相手を抑えた時の笑顔は皆少年に戻っています(笑)

これから秋まで大会は続きますので応援も大歓迎です!!是非球場まで足を運んで頂けたら部員一丸となって頑張ります。



新職員紹介



中里ワークホーム  
調理員  
小高八千代

こんにちは、3月末より勤めさせて頂いています。仕事は、調理員として入りました。新米主婦ではありませんが、新人です。いろいろな覚える事が多いのですが、皆さんに教えて頂きながら、早く仕事に慣れて、一人で行えるように頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。



中里ワークホーム  
看護師  
小倉達也

みなさん、こんにちは。5月1日から、いむしつで、はたらいています、かんごしのおぐらつやです。いままでは、びょういんではたらいていました。すぎなことは、ねるごとと、そとであそぶことです。みなさんのすぎなことはありませんか？ みなさんと、おはなしもたくさんしたいです。いむしつにいるときは、おはなしにきてください。



中里の家  
調理員  
小栗みよ子

初めまして、小栗と申します。昨年11月より中里の家の厨房に勤務する事となり、半年近くになります。不慣れな仕事、それにも増して覚える事の多さに毎日四苦八苦しています。利用者さんとの距離は近くもあり遠くもあり、日々の変化がちょびり見える事も…。私自身未熟な所が多いですが、利用者の方と少しでも会話、心と心の会話ができると思っております。宜しくお祈りいたします。



中里の家  
支援員  
石井菜由香

本年度からお世話になります、石井菜由香です。障害を持たれる方と接するのが初めてで最初はとまどいがありましたが、今は楽しくお仕事をさせて頂いていただいております。利用されている方々とお話をしていると小さな頃の思い出や為になるお話が伺えて勉強になります。今後も頑張ってお仕事に取り組みで行きたいと思っております。



中里の家  
支援員  
前田ひとみ

今年度から新しく入りました、前田です。イベント事が好きですが、少し人見知りで上がり症な性格のため不完全燃焼で終わらせてしまうのが悩みです。趣味は読書、本屋をぶらりと眺めるのが好きです。少々間が抜けている為ご迷惑を掛けましてもう少し頑張りますがよろしくお祈りします。



中里の家  
支援員  
堀江拓也

初めまして、4月より中里の家の支援員として勤務させて頂いていただいております。軽作業班に所属し、作業を行っています。私は、野球を小さい頃からやっており野球が好きです。利用者の方にも野球が好きという方がおり楽しくお話をさせて頂いていただいております。初めての仕事でなにもわからず皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお祈りします。

安房広域福祉会

評議員の就退任

- ◆退任  
田邊 進 (平成26年3月31日退任)  
鈴木正弘 (平成26年5月31日退任)  
増岡鎧治 (平成26年5月31日退任)
- ◆就任  
重田 修一  
鈴木千佳士 (任期平成26年6月1日、平成27年5月31日)  
秋山一夫 (平成27年5月31日)

新車輛購入

支援員 小池雄吾

中里ワークホームでは、平成26年度より利用者様の増員に伴い、新車輛として「ハイエース・コミューター」を購入させて頂いていただきました。乗車定員は普通車よりも多く14人乗ることが出来ます。送迎や休日の余暇活動などで多くの方を一度に活用してあります。14人であつても大きさは普通車より少し大きい程度であり、バスなどでは通行できない道も通行できるという利点もあります。様々な用途があり、便利に活用できますが、安全運転にも心掛けていきます。



▲ハイエース・コミューター

そらまめできました!

支援員 小高夏美

昨年の10月に播種をし、すぐしくと育ち今年の5月に収穫をしました。ふっくらと美味しいお豆です。冷凍した「そらまめ」ふれあいシヨップで販売中!!です。



▲ビールのお供に!!

編集後記

今年度初になります「にじのかけはし」が完成しました。メンバーも一新して、これからも「より楽しく」「よりわかりやすく」をモットーに委員全員の力を合わせていきたいと思っております。これだ!!と思うネタをお持ちの方は是非委員会までお願いします。次回もぜひご期待!

(豊崎)